

中学生が職場体験



仲井真中学校と本校は小中一貫教育を積極的に推進しています。取組の一つに、職場体験（1／22～23）がありました。

体験で来校したのは5名の中学1年生。いずれも本校出身で、中には小学校に弟妹がいる生徒さんもありました。活動では各学年、教室、授業を見て、いろいろと体験しました。体験を終え、生徒達の感想を見ると学びがかなりあったようです。その中で一部作文を紹介します。



2年生にかけ算 を教える中学生

新垣

私はこの3日間、低学年の先生と高学年の先生の違いに注目してみました。2日目に行った一年生の教室の時計を見てみるとまた、時計がよめないう一年生のために5,10,15と何分かわかるように工夫していたのを見て、すごいなと感じました。また、一年生にはわかりやすく、伝わるように話していました。高学年には

うしろさ

一度にしゃべっていたので、レベル
が上かっているなと思いました。
低学年には伝わりやすく、高学年には
詳しく話すことが大切だということか
わかって良かったです。
この3日間、親切にしてください、
貴重な体験をありがとうございました。

中学生の作文を読むと、視点を持って体験に参加してくれていたんだということがよくわかりました。さすが中学生ですね。

今回の体験で小学生は校区における中学生との繋がりを実感することができました。これからも中学生をどしどし派遣してください。仲井真中学校に感謝します、ありがとうございました。

募金で感謝状1/24

那霸市社会福祉協議会

計画委員が
中心になって
集めた募金の
総額は
35183円
でした。

マリーゴールド
ただ今 四分咲き



ミツバチをさがす子ども達